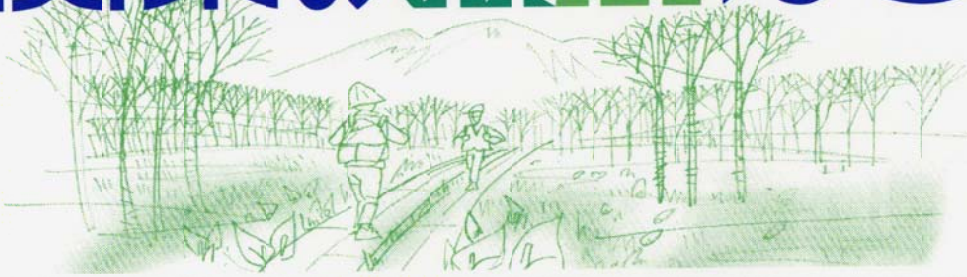


平成22年5月1日

第74号

関東の森林から



関東森林管理局

前橋市岩神町4-16-25
TEL.027-210-1158

<http://www.rinya.maff.go.jp/kanto/>



白根山頂の湯釜（群馬県草津町）
（撮影者：吾妻森林管理署 永町 奈津実）

「民有林・国有林が連携した
先進的・先導的な取り組みの推進」

企画調整室長

私と国有林「コーディネーターとしての
森づくりから学んだこと」

（財）オイスカ山梨県支部 事務局長 田中 美津江 氏

「民有林・国有林が連携した 先進的・先導的な取り組みの推進」

企画調整室長 氷見 章

関東森林管理局では、森林・林業基本計画、管理経営基本計画及び昨年12月に公表された森林・林業再生プランを踏まえ、民有林・国有林の一層の連携を図りつつ、地球温暖化の防止や生物多様性の保全をはじめとする国民のニーズに応えた多様で活力ある森林の整備や木材の安定供給、国有林の技術力を活かした先進的・先導的な取組等を行います。

公益的機能発揮に向けた取組

- ・ 多様で健全な森林の整備・保全を図るため、保育間伐などを実施し、長伐期化、複層林化、天然力の活用等による針広混交林化等の推進に取り組みます。
- ・ 森林吸収目標1,300万炭素トンの達成に向けて、吸収源としてカウントできる森林を効率的かつ確実に増やすために、森林整備事業や保安林整備事業による間伐等の着実な実施に努めます。
- ・ 林道等路網整備については、森林の適正な整備・保全を推進するため計画的に実施するとともに、現地に即した工種・工法の採用、低コスト化の推進、間伐材等木材の利用拡大に取り組みます。

・ 国民が安心して暮らせる社会の実現に向けて、計画的かつ効率的に治山事業を実施します。

民有林と連携した 先進的・先導的な取組

- ・ 第4次流域管理推進アクションプログラム（平成22～平成24年度）の着実な実施を通じ、国の森林・林業施策の紹介、民有林・国有林が連携した取り組みなどを積極的に行います。
- ・ 民有林・国有林が連携した森林共同施業団地の設定等により、効率的な路網整備や間伐等の森林整備に取り組みます。
- ・ 野生生物による農林業被害を軽減し野生生物との共存を図るため民有林との連携を図り、効果的な被害軽減手法の検討を進めます。

生物多様性の保全

- ・ 原生的な天然生林や貴重な野生動植物が生息・生育する森林については、保護林や緑の回廊の設定、モニタリング調査を通じた保全・管理を推進します。
- ・ 赤谷森林環境保全ふれあいセンターを核として、NPO等との連携による生物多様性保全等の自然

再生活動を推進します。

・ 林業と生物多様性保全の両立を図るオオタカモデル森林や、イヌワシの生息環境を保全する森林施業の調査等の取り組みを積極的に進めます。

・ 世界自然遺産登録を目指す小笠原諸島の保全・管理については、新たに「小笠原諸島森林生態系保全センター」を設置し、移入種対策の強化や利用ルールの定着化を図り、適切な保全・管理を推進します。



小笠原諸島(父島)

森林施業の低コスト化と 木材の安定供給

・ 民有林と連携しながら、簡易で壊れにくい作業路の普及・定着に取り組みとともに、路網と高効率な作業システムによる間伐や、植え付け作業効率がよいコンテナ苗を活用した低コスト造林の実践・実証に努めます。



低コスト作業路

国民の森林としての管理経営

・ 木材の安定供給体制の確保を図るとともに、小径材の大ロット化、林地残材のチップ原料への活用等により木材利用率の向上に取り組めます。

・ 赤谷森林環境保全ふれあいセンターや高尾森林センターの活動を通じた情報サービスの提供、国有林モニターに対する継続的な情報の提供、率直な意見や要望をいただく取り組みを通じて、双方の情報意見の交換を推進します。

・ ボランティア団体・企業等による自主的な森林整備活動等を支援するため「ふれあいの森」「社会貢献の森」「遊々の森」等の協定締結による国民参加の森林づくりの推進に努めます。

・ 地元産業の振興等に資する国有林野の貸付けや売払い、分収林制度の活用等を通じて地域振興への寄与に努めます。

新局長に臼杵徳一氏

(4月1日付け)

4月1日付けで、小林裕幸局長が退任し、新局長として臼杵徳一氏が就任しました。



臼杵 徳一
関東森林管理局長

小林局長は、農林水産省大臣官房協同組合検査部長から平成20年4月に当局長に就任し、在任期間中は2年間でした。

4月2日(金)に行われた離任式で小林前局長から職員を前に、次のような挨拶がありました。

「我々の仕事は、長年先輩方が育て残してくれた国有林の山をしつかりと管理して、後輩の世代に残して行くことが仕事であり、一番の原点だと思います。」

この2年間の間で、署の皆さんや森林官の皆さんとも話す機会をいただきましたが、皆さん一生懸命仕事をしていたいています。良い山を残すという皆さんの気持

ちをそのまま生かして、引き続き山づくりにご尽力いただければありがたいと思います。

私はそのような職員の皆さんと働いたことを大変、誇りに思い幸せに思っています。」とのお別れの言葉がありました。

4月5日(月)に臼杵新局長から訓辞があり、「国有林野事業を担当するのは、平成8年に旧東京営林局の総務部長として、平成12年には林野庁国有林野部管理課長として勤務しており、今回の関東森林管理局長で通算3回目の勤務となります。」

私が仕事を進める上でモットーとしていることが4点あります。一つは、外への発信力を強化してほしいと思います。国内の山村や森林・林業の実態がどうなっ



退任の挨拶をする小林前局長



着任の挨拶をする臼杵新局長

いるのかなどの情報を、分かりやすく丁寧な言葉で説明していただきたいと思っています。

2番目は、フットワークを良くしてほしい。足を運べば運が向いてくると考えています。できるだけ色々なところへ自ら出向き、対応するようお願いをしたいと思っています。

3番目は、今、「森林・林業再生プラン」という大きな仕掛けが動こうとしています。

その中で、関東森林管理局として何ができるか、自分の担当している仕事はどうつながっているかなど、常に俯瞰的な視点から判断していただきたいと考えます。最後に、できるだけ皆さんポス

トを一つ上のつもりで仕事に向きあっていたきたいと思っています。皆さんから、関東森林管理局の最新の状況を学び、国民の財産である国有林をしつかり守り育てていきたいと考えています。気軽に私の部屋に足を運んでいただければと思っています。お世話になります。よろしくお願いします。」との着任の挨拶がありました。(総務課)

関東森林管理局長

(略歴)

臼杵 徳一
うすき とくいち

出身 兵庫県

昭和53・4 農林省入省

平成元・4 栃木県農務部農業経済課

平成8・1 長等を経て

平成9・7 東京営林局総務部長

平成11・7 自治省大臣官房地域政策

室長

平成12・6 食品流通局野菜流通課長

平成14・1 林野庁国有林野部管理課

平成15・1 長

平成16・7 総合食料局食料政策課長

平成17・1 農林水産技術会議事務局

総務課長

平成18・4 九州農政局次長

平成19・4 (独) 農畜産業振興機構

理事

平成22・4 関東森林管理局長



炭焼き体験

高尾の森から

平成21年度を振り返って

高尾森林センターは、一般公募によるイベントと依頼を受けて行うイベントを行っています。

平成21年度は公募によるイベントを12回行い、500名の参加がありました。野草観察に始まりカメララスケッチング、森林カレッジⅠⅡⅣ、子ども樹木博士、炭焼き体験など様々なメニューを用意して森林に触れ合いながら学んでいただきました。

依頼を受けて行ったイベントは小学校12校、中学校3校、幼稚園、保育園、ボーイスカウト東京連盟など21団体、延べ1,914名の方に森

林の働きなどの講義、間伐や炭焼きなどを体験していただきました。

この他にもグリーンフェスティバル、みどりの日のイベント、森林の市、もみじ祭、森林遊学などに参加しました。また、当センター1階の木工体験室においてもクラフト体験を積極的に受け入れ、森林インストラクター東京会によるふれあい推進事業（委託）においても多くの方が参加し、日影沢のウッドイハウス愛林、当センター展示室の絵画・写真等は来場者に好評でした。

森林教室について

当センターで行うイベントの中でも未来を担う子どもたちに森林・林業について理解してもらうことを重要なテーマとして取り組んでいます。従来は1日だけの森林教室がほとんどだったのですが、近年2日、3日と時間を取っていただける学校が増えていきます。横浜市の谷本小学校では、事前学習として学校で2回、高尾山で2泊3日の宿泊学習を行い、内容は講義、間伐、ベンチ作り、炭焼き、自然観察など様々なことを体験していただきました。

東京事務所では、毎年、森林教室を受けられた小学生を対象として作文コンクールを行っています。平成21年度のコンクールにおいて、谷本小学校の児童が最優秀賞を受賞し、私たちにとても大変うれしい出来



こども樹木博士・試験中

事でした。

気持ちを新たに

新年度が始まり、4月は公募、依頼イベントを各2回を行い、グリーンフェスティバルにも参加しました。今後より楽しく、より内容のあるイベントを目指し、森林・林業の大切さを少しでも多くの方に伝えていきたいと考えています。

（高尾森林センター）

イベントのお知らせ

平成22年度の一般公募イベントの案内は、こちらをご覧ください。

<http://www.rinya.maff.go.jp/kanto/taka-o/ibent/ibent.html>

労働災害の撲滅を願ひ

安全祈願



安全祈願をする局幹部

平成22年度関東森林管理局の安全祈願式が4月12日（月）前橋市元総社町の上野総社神社において、臼杵局長、長口総務部長、河野森林整備部長及び関係課長等が出席し、厳粛のうちに執り行われ、重大災害の撲滅を期するとともに、今後のゼロ災害を祈願しました。

平成21年度における当局の労働災害の発生件数は13件で、前年度に比較し2件の増加となりました。災害の主な原因は、転倒・滑落など足元の確認不足によるものや交通事故によるものです。

特に交通事故は一步間違えば重大災害につながりかねない危険性をはらんでいるので、公私を問わず、安全運転・防衛運転に徹し、交通事故の撲滅に向けて一層の取り組みをお願いします。（職員厚生課）

幹部の紹介

4月1日付け()は前職

計画部長



石澤 尚史
いしざわ なおふみ

〈略歴〉

出身 青森県

昭和57・4 林野庁入庁

平成2・4 青森営林局大畑営林署長

平成4・4 函館営林支局企画調整室長

平成8・8 林野庁林政部企画課課長補佐

平成13・4 岐阜県基盤整備部治山林道課長

平成15・4 林野庁森林整備部森林保全課課長補佐

平成16・4 福岡森林管理署長

平成18・1 林野庁林政部経営課特用林産対策室長

平成20・1 林野庁林政部経営課林業労働対策室長

平成22・4 関東森林管理局計画部長

関東森林管理局課長等

▽企画調整室長 氷見 章

(林野庁国有林野部経営企画課流域管理指導官)

▽総務部総務課長 目黒 文彦

(企画調整室監査官)

▽計画部指導普及課長 大藏 克育

(近畿中国森林管理局計画部企画官)

▽赤谷森林環境保全ふれあいセンタ―所長 鈴木 綾子

(外務省国際協力局国別開発協力第一課課長補佐)

▽小笠原諸島森林生態系保全センタ―所長 原田 正明

(小笠原諸島森林生態系保全対策室長)

森林管理署長等

▽群馬森林管理署長 今井 英策

(四国森林管理局総務部長)

▽下越森林管理署長 古井 繁男

(北海道森林管理局函館事務所長)

▽上越森林管理署長 志間 俊弘

(九州森林管理局大分森林管理署長)

▽静岡森林管理署長 坂元 邦夫

(中部森林管理局岐阜森林管理署長)

▽千葉森林管理事務所長 千葉 美辰

(下越森林管理署長)

新規採用者の紹介

4月6日(火)各森林管理署等へ配属された新規採用者等19名が一堂に会し、新規採用研修の開講式が行われました。
研修を終えて、それぞれ所属先で職業人としてスタートします。
先輩の皆さんよろしくお願いします。

新規採用Ⅱ種(写真前列右から)

高尾森林センタ― 田中麻衣子
(平成22年2月採用)

伊豆森林管理署 井本 萌

東京神奈川森林管理署 永田 惟人

上越森林管理署 久保田啓介

吾妻森林管理署 高階 智里

利根沼田森林管理署 江口 隆祥

塩那森林管理署 濱 崇

日光森林管理署 野口 陽平

会津森林管理署 荒澤 佑樹

新規採用Ⅲ種(写真後列右から)

千葉森林管理事務所 小柳 勝志

天竜森林管理署 米田 耕真



東京神奈川森林管理署	山口 和昭
茨城森林管理署	新屋 将希
下越森林管理署	星 佳奈
中越署林管理署	黒木 康平
磐城森林管理署	崎 辰紀
磐城森林管理署	池谷 隆
会津森林管理署	星野 要
福島森林管理署	有賀 憲一

私と国有林

コーディネーターとしての森づくりから学んだこと

《財》オイスカ山梨県支部 事務局長 田中 美津江



私が、森の所有形態には色々あると知ったのは、学校林活動を始めたときであった。

オイスカは東南アジアを中心に「子供の森計画」を推進していたが、国内での取り組みはほとんど進んでいない10年ほど前、国内版「子供の森」として学校林活動が始まった。

学校林と言えば当然、学校が所有



ふれあいの森(甲府商工会議所による植樹を支援)



遊々の森(甲府市立里垣小学校による間伐体験を支援)

して、学校と打合せができれば簡単に入っていけるものと思っていたのだが、ここの学校は県有林です。から県と、ここは市有林ですから市と、というように土地の所有者と立木の所有者、管理者が別であり、それぞれと話し合う必要があった。その中の何校かが国有林であった。

そこで山梨森林管理事務所のお付き合いが始まり、今では「学校林・遊々の森」全国子どもサミットまで

ご一緒させていただく関係になった。単純な動機で始まった学校林は、多くの可能性を秘めた活動に発展している。学校林は未来を担う子ども達の授業のフィールドとして多くの学びの場となっており、また整備活動を通じ、地域と学校の関わりが深くなり、地域全体の環境保全活動の場に発展し、地域での暮らしの中に森林が深く関わり、多くの恵みをもたらしてくれている事も改めて実感できる。

その後は火事で消失した国有林の再生に、企業と共に関わることででき、現在も続いている。

最近の森林は単なる木材生産のための林業経営が求められるのではなく、公益的機能が十分発揮できる整備活動が必要である。そのためには森林の持っている機能を十分に発揮させる生態系管理も求められる。

したがって、従来の林業としての森林整備にとどまらず、フィールドの調査(もともとの天然林はどうであったか?どんな動植物が生息していたか?など)が、必要となってくる。その調査に基づき、森林の整備を行う事が生態系管理に繋が



多様な活動の森(ANAインターコンチネンタルホテル東京による植樹を支援)

ていくと考えられる。それゆえオイスカが実施する森づくりは、単に植栽、下刈り、間伐などの施業にとどまらず、生態系管理を目指し植栽前の潜在動植物調査、植栽後にはどのような生態系の変化がみられるかのモニタリング調査は欠かせないものとなっている。

企業をはじめ一般の方の森林に対する関心や意識は高まっている。この状況を一過性のもので終わらせることなく、これからもコーディネーターとして、森林保全活動を安全に推進していきたいと思っている。

森づくり最前線

利根沼田森林管理署 花咲森林事務所 森林官 伊藤 愛



日本百名山 武尊山

私が勤務している花咲^{はなさく}森林事務所と鎌田森林事務所は、尾瀬で有名な群馬県片品村に所在し、日光白根山、三ヶ峰、武尊山などに囲まれた約9,500㏍の国有林を管理しています。

片品村は、春から秋は尾瀬や登山に向かう観光客、冬はスキー場に訪れる人々で賑わう観光事業が盛んな村で、管内の国有林にある5箇所のスキー場も地域の活性化に貢献しています。また都心から比較的近いため、自然体験・林業体験の場としても国有林は大きく期待されています。

森林官としての業務は、造林等の請負契約の監督や収獲調査、巡検作業（国有地と民有地との境界の調査）に国有地の貸付業務、森林パトロールなど沢山ありますが、すべては対象となる山が分からなければ始まりません。

当事務所は、森林官1人での勤務となっていますが、地元の方々の協力もあり、国有地と民有地の境界や各種作業を行いながら周辺の状況などを話していただけるので、山の手入れを行う上で心強い存在となっています。

また、最近ではクマやシカによる立木の剥皮被害が目立ってきており、現在、管内の被害状況を確認したり、役場や森林組合から民有地での被害の状況や対策を聞くなど情報収集をしています。山をよく知るOBの方や地元の方の意見を踏まえながら、今後、より積極的な対策を講じていかなければならないと考えています。



地味だけど大切な巡検作業



剥皮被害の調査

さて、事務所がある花咲地域は、昔から国有林との結びつきが深いところです。今でも「担当区さん（森林官の旧称）」と気軽に声をかけいただけるほか、山開きや山神祭、学校の入学式など地域の行事には必ず招待していただいております。昔、国有林の仕事に関わったことがある方も多く、こうした交流は片品村や管内の山に関する情報を得る貴重な機会となっています。最近は森林事務所と地域の関係が希薄になっているという話も聞きますが、今後も地元の声を聞きながら、互いに支え合える関係を続けていきたいと思っています。

早くも森林官として最初の1年が過ぎました。年間の流れがつかめず、何をするにも分からないことだらけで焦る日々もありました。空回りすることもありましたが、諸先輩方や地元の皆さんに支えられ、沢山のことを学びました。まだまだ半人前ですが、数百年先に残したい森林の姿を思い描きながら、自分のできることを精一杯、楽しんでやっていきたいと思っています。



体験林業でブナを植えました。

管内の百名山 「草津白根山」



横手山ヒュッテ方面から見た白根山

草津白根山は群馬県吾妻郡草津町の国有林に位置する白根山(2,162㍎)、逢ノ峰(2,110㍎)、本白根山(2,171㍎)の3山の総称で、長い歴史のある活火山です。現在の草津温泉街がある台地は、約30万年～35万年前の白根山の大火砕流によってできたものです。

全国に白根と名の付く山はいくつかありますが、白根は白峰あるいは白嶺から付いたといわれています。この白根山も名の由縁とおり山頂付近は白い山肌が広がっていますが、1882年の噴火以前は鬱蒼とした森林に覆われていたといわれています。



遊歩道から見た湯釜

白根山頂には頂上らしきものはありませんが、その付近には幾つかの噴火口があり荒々しい姿を見せています。周辺には火口湖が三つ並んでいて、中央の大きいものが湯釜と呼ばれ、直径300㍎の雄大な湖面には世界で有数の強酸性の神秘的なエメラルドグリーンの湖水が広がり、褐色の火口壁とのコントラストが魅力的ですが、現在は、火山活動の危険性から火口半径500㍎以内は立入り禁止となっているため、近くでは見られません。

南部に位置する最高峰の本白根山では、高山植物の女王コマクサの大群落が見られます。これは数十年前から盗掘により絶滅寸前だったコマクサを復元させようと、情熱を傾けられた地元個人の方の地道な活動から始まったもので、今では草津中学校の生徒、地元有志、自然保護団体等の多くの方々の活動によって復元された貴重な群落です。

厳しい自然環境の中に生き抜く可憐な姿は、多くの観光客・登山者等の心を癒してくれます。この地元の人達の努力の結晶であるコマクサ等を守るために、吾妻森林管理署では地域の方々と連携しながらパトロール等の保護活動に積極的に取り組んでいます。

(吾妻森林管理署 広報広聴連絡官)



高山植物の女王コマクサ

参加者募集

第1回国有林野事業見学会

中越地震による山地災害復旧の様子を見に行こう!

新潟県中越地震による山地災害復旧事業を見学し、治山事業、国土保全について考えてみませんか。

大河ドラマ「天地人」の舞台になった「雲洞庵」の見学も予定しています。



小千谷市浦柄被災状況 (平成16年10月撮影)



小千谷市浦柄完了状況 (平成19年7月撮影)

実施日 平成22年6月18日(金)

参加定員 25名(応募者多数の場合抽選)

参加費 1,500円

申込締切 平成22年5月31日(月)

申込・問い合わせ先

関東森林管理局 指導普及課 緑の普及係

〒371-8508 前橋市岩神町4-16-25

電話番号(027)210-1175

詳細は、こちらをご覧ください。

<http://www.rinya.maff.go.jp/kanto/koho/>

/event/index.html

発行所 関東森林管理局
編集総務課

TEL (027) 210-1158
FAX (027) 210-1159